

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100120
法人名	社会福祉法人 ともの家
事業所名	溝辺ともの家
所在地	松山市溝辺町甲 1 1 9 - 1
自己評価作成日	平成23年6月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年7月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

洗濯、自室の掃除、調理、食事作りの参加、片付け等自立した生活を目指す支援に努めています。役割のある楽しい生活をしていただけるよう、研修会などで学んだことをいかしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

● 蒸しパンやおはぎを利用者と職員で手作りして、昨年増築したデッキで行う「ミニ喫茶」で、お茶とともにお出ししている。杖を使って歩く利用者も、ミニ喫茶の際には、杖を置き、お盆を持ってお客さんに接待されるようだ。年末の「餅つき」の際は、ご近所のお宅にも案内を配り、子ども達や子供会の役員の方・利用者のご家族も一緒に餅つきに参加された。ご近所にお配りするためのお餅も利用者と一緒に準備された。隣のスーパーに買い物に来る方とデッキ越しにおしゃべりをすることもある。地域の夏祭りに出かけて盆踊りを見学されたり、系列事業所の行事に参加して地域の方と交流されている。

● 今年は、利用者一人づつ行きたい場所や生まれ育った場所を訪ねる取り組みをすすめておられる。生家に行くことが難しい方は、近くにある公園等に行ってみることにされている。秋には中山にある「花の森ホテル」に一泊旅行され、いつもより多く食事を召し上げる利用者もあった。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

溝辺ともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

力石まさみ

評価完了日

平成23年6月20日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			利用者サービスの基本方針に「家族、友人、地域との交流 を大切にし、社会性の維持、回復に努める」を掲げ、常に ホームを開放し、入居者も地域に出掛けるようにしている。	
			(外部評価)	
			理事長は、法人の方針や理念に基づき「障害を持っておら れる利用者の尊厳ある生活を保障することや最期まで看るこ と」を職員によく話されている。事業所で受け入れた介護実 習生で法人の理念に共感されて、現在、事業所の職員とな られた方がいる。	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられ るよう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			毎月第2、4土曜日に「ミニ喫茶」を開き、地域の方との交流 の場を設けている。町内のゴミ収集所の清掃、公園の清掃 にも参加している。年末には餅つきを行い、家族、近所の小 学生にも参加して頂けた。	
			(外部評価)	
			蒸しパンやおはぎを利用者と職員で手作りして、昨年増築し たデッキで行う「ミニ喫茶」で、お茶とともにお出ししている。 杖を使って歩く利用者也、ミニ喫茶の際には、杖を置き、お 盆を持ってお客さんに接待されるようだ。年末の「餅つき」の 際は、ご近所のお宅にも案内を配り、子ども達や子供会の役 員の方・利用者のご家族も一緒に餅つきに参加された。ご近 所にお配りするためのお餅も利用者と一緒に準備された。隣 のスーパーに買い物に来る方とデッキ越しにおしゃべりをす ることもある。地域の夏祭りに出かけて盆踊りを見学されたり、 系列事業所の行事に参加して地域の方と交流されている。	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			介護に関する2冊の本を出版、デパート等で写真展を家族 の会と協力して行った。法人全体で近所を対象にアンケート を行い、回答者の介護に対する質問に答え、結果を報告し た。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○ 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 二ヶ月に一度開催し、行事の予定、入居者の生活の様子を伝え、話し合っている。地域の方にも参加して頂き、地域の話し等も聞かせて頂けた。家族から地域の方を交えての火災訓練の要望があったため、地域の方を交えた火災予防の説明会を開いた。	
			(外部評価) 昨年の会議での意見を参考にして、事業所の知名度等について、近所の方々にアンケート調査をされ、結果は、73名中67名が事業所のことをご存知であることを知ることができた。年度初めの会議時、数十名の方の参加が得られたが、その後は参加数が少なめとなっており、会議の中でそのことを話題にされると、地域の出席者から、事業所が目前の川で地区や校区が変わることもあって「近所であっても事業所の行事等に参加することに遠慮がある」ということを知ることができた。	事業所では、アンケートや会議での意見を踏まえて、地域を広く捉えて会議のあり方や行事等を考えていきたいと話しておられた。地域の方達や利用者にかかわる人達が多く参加して下さるような会議の工夫を重ね、さらに意見を引き出してサービスの質の向上につなげていかれてほしい。
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に出席して頂いており、利用者の生活の様子、家族との意見交換もして頂いている。	
			(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者の方から食中毒や感染症の流行の状況について情報提供していただいたり、ご家族から介護保険について質問があった際には、仕組み等について説明をしていただいた。男性職員が、ある利用者の方への対応がうまくいかないことについて悩んでいることを相談した際に、「その利用者が親しくしている職員に協力してもらってはどうか」とアドバイスをいただいたこともある。	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は身体拘束が虐待であるという認識を持っている。玄関や居室を施錠することなく、拘束の無いケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 事業所は、身体・言葉の拘束だけでなく、薬での拘束にも気を付けて利用者を「強制することなく個々の気持ちに沿うよう穏やかに支援していきたい」と考えておられた。事業所のデッキからスーパーの駐車場につながっていて、利用者は、買い物にもよく出かけておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○ 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ともの家全体で行っている研修会で高齢者虐待防止法等について学ぶ機会をもった。全職員が虐待に対して、人権侵害であるとの意識を持って防止に努めている。	
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研究会等でこれらについての知識を深めている。支援の必要性を関係者と話し合い、いつでも活用できるようにしている。	
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の締結、解約の際は家族と密にコミュニケーションを図り、理解、納得して頂けるよう努めている。	
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の方や家族がいつでも意見、不満、苦情を表すことのできる柔軟な姿勢をとり、意見が出たときには直ちに話し合いの場を持ち、運営に反映させるようにしている。 (外部評価) 利用者個々に担当職員が配置されており、毎月、利用者個別に様子を手紙で知らせておられる。担当の職員がいることで、ご家族も相談しやすく、安心感につながっているようだ。ご家族からの意見や要望は「連絡ノート」に記入して、すべての職員で共有されている。「熱があったらすぐに連絡が欲しい」「熱が出たくらいなら事業所で様子をみて欲しい」等、ご家族のその時々のお思いや希望等を大切に、事業所からは、医療的な情報等も提供して、相談しながら対応を決めるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見 や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月の職員会議では職員の意見や提案を聞き、反映してい る。毎月の管理者会議でも必要に応じ、職員の声を汲み上 げている。	
			(外部評価)	
			職員は、ミニ喫茶に、地域の方が多く来てくださるようにアイ デアを出し合っておられる。職員からは、メニューについて 「たまには、昼食時間に喫茶を開き、カレーやうどんを用意し てはどうか」というような提案があり、現在検討されている。	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職 場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況を把握しており、理事長は管理者、職委員にねぎ らいの言葉を掛けている。努力した職員は年度末の全体職 員会議で褒められた。	
13		○ 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの 実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	(自己評価)	
			毎月職員研修があり、学んでいる。外部の研修も希望者は 優先で参加できる体制をとっている。資格取得のための勉強 会もある。	
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する 機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている	(自己評価)	
			全国組織のシンポジウムやセミナーに参加したり、施設を訪 問し、質の向上のための取り組みをしている。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、本人の安心を確保するための関係づくりに 努めている	(自己評価)	
			寄り添い、共感することで本人の思いを汲み取れるよう努め ている。不安等、話しを聞く時間の確保に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 相談等あったときにはきちんと面談を行い、傾聴に努め、その都度改善を行っている。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) サービスを利用する段階で家族や本人が必要としているものをあらゆる角度から判断し、適切な支援が受けられるようその方に合ったサービスを提供できるよう努めている。	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員は介護行為の都度「ありがとうございます」と感謝の念を伝えている。利用者を主に考え、出来ることは本人にして頂き、職員はあくまでもそのサポートを行うようにしている。	
19		○ 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族をケアパートナーと位置づけ、家族と共に支える介護を行っている。行事への参加、衣替え、外出、宿泊等を通して、利用者との絆を大切にした関係を築いて頂いている。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の協力を得ての墓参り、家族の家への訪問、宿泊等呼び掛け、実施している。 (外部評価) ご家族とお墓参りをされたり、外食や美容室に出かける利用者もおられる。自室で友人の方と電話でお話をされる方もおられる。又、友人が事業所に来られることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 家事やレクリエーション、ティータイム、食事作り等を通じ、利用者同士が協力し、支え合いが出来るよう支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 年に4回発行している「ともの家だより」の送付、バザーロビー展の案内をしている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ケアプラン作成時に本人や家族に暮らし方の希望を聞き、その考えをケアに活かしている。 (外部評価) 事業所が受け入れておられるスーパーバイザーから「記録の簡素化をしてはどうか」という助言があり、現在は、午前・午後・夜間で記録をされている。ケアの内容だけでなく、利用者の表情や思いを具体的に記入して、利用者個々の思いや意向を把握できるよう努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人との会話を通し確認したり、分からないことは家族に聞く等して把握に努めている。過去の記録を見直すことで情報を取り入れている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活の様子を記録に残し、記録の読み返し、職員同士の報告を徹底している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人、家族との話し合い、職員同士が意見を出し合い、話し合っ て介護計画を作成している。ケアプラン作成時には家族の意見を聞いている。	
			(外部評価)	
			介護計画について、毎月職員で話し合う機会を持ち、モニタ リングをされている。利用者の状態に応じて3～6ヶ月毎に見 直しを行っておられる。利用者やご家族の希望は、必ず計 画に取り入れ支援できるようにされている。	
27		○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			個人記録にケアの実践状況や様子を記録し、気づきも記入している。また、職員同士が情報を共有している。	
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人や家族の状況に応じて通院や外出に付き添い、その他のニーズの応じて、柔軟な支援を行っている。正月には自宅に泊まった方もいる。一泊旅行にもいった。	
29		○ 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			隣のスーパーへの買い物、美容院の利用、近隣への散歩を日常的に支援している。バザーロビー展の開催で地域の方と交流している。ウッドデッキを活用してミニ喫茶店を開いている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○ かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望に掛かり付け医を受診して頂いている。協力医の往診が3週間に1度ある。24時間対応の訪問診療を受けられる体制にしている方もいる。	
			(外部評価) 利用者の受診時、ご家族が付き添いする場合には、事業所で最近の利用者の状況を記入した「診療情報提供書」をご家族に持参していただき、医療機関と情報のやり取りをされている。利用者の希望や状態に応じて、24時間態勢の訪問看護や往診を利用されている。利用者の発熱や急な変化があった時には、系列事業所の看護師に相談して、利用者の様子をみてもらったり、受診の必要性を判断してもらっている。	
31		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師に必要に応じて相談し、助言指導をもらっている。	
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時には医療機関と情報交換し、相談している。	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 看取りに関して、家族や関係者と話し合い、スタッフ間でも話し合うようにしている。看取りの資料を備えている。	
			(外部評価) 入居時以外にも、状態の変化時には利用者・ご家族と話し合う機会を作っておられる。重度化した場合、かかりつけの病院へ入院することを希望される方、事業所で最期まで看てもらいたいと思っておられる利用者等、それぞれの希望を大切にして支援されている。職員は、系列事業所の看護師から終末期の観察のポイントや水分量・尿量等、記録する項目についてアドバイスをいただきながら取り組みをすすめておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時の対応についてのマニュアルを作成し、すぐに見られる所に貼っている。また、看護師から研修会等で応急手当等実践に結びつくよう指導を受けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回消防署の指導を受け、避難訓練を実施している。1回は地域の方と共に実施している。防災設備の充実も随時検討している。 (外部評価) 2月に夜間の火災を想定した避難訓練を実施された。秋には防災士の資格を持つ職員がいる系列の事業所と合同で地域の方も参加した防災訓練を行うことを予定されている。	災害のいろいろな場面を想定して、訓練を重ねていかれてほしい。又、地域の方等、いざという時に協力して下さるような方を増やし、ともに訓練を行う等、相互に協力し合えるような体制作りをすすめていかれてほしい。事業所は、今年度、火災通報装置を設置されたり、又、備蓄についても考えていく予定である。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) ともの家の運営理念である「尊厳ある生活を保障する」を接遇態度においても実施した言葉掛けをしている。他に発言する場合は本人、家族の了承を得て、プライバシーの保護を行っている。 (外部評価) 事業所便りやホームページに写真を載せることについて、ご家族に相談されたところ「掲載は控えて欲しい」との希望もあった。職員は、利用者との会話の際「利用者の目線に合わせ、尊敬語・謙譲語で言葉をかける」ことに気を付けておられる。調査訪問時、職員は利用者にゆっくりと耳元で話しておられる様子がうかがえた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活は自己決定、意志に基づき、説得ではなく納得を持って介護している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人の体調、ペースに合わせ生活して頂いている。本 人の意思を大切にした支援を行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 本人の希望の衣類を選択して頂き、髪型、身だしなみに気 を使っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好みの食べ物を尋ね、それを献立に取り入れ、一緒に買い 物に行き、調理して頂いている。食事の盛り付け、片付け等 も行って頂いている。 (外部評価) 昼食・夕食の主菜・副菜は、法人の厨房で作られたものが事 業所に届くようになっている。ご飯と汁物は事業所で利用者 と作っておられる。「1品は味付けがしっかりしたものが良い・ フライより天婦羅にした方が食べやすい・旬のものが食べたい 」等、事業所側から厨房に具体的に要望を出し、採り入れ てもらっている。調査訪問時には、食後に食器を拭いておら れる利用者の様子がうかがえた。週に1回は、お好み焼きや お寿司等、利用者のお好きなものを作って食べる日を設け ておられ、ごぼうのささがきや野菜を切ってくださる利用者も おられる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人のその日の状態に注意し、食べる量が少ないとき は好みの物を食べて頂き、好みの飲み物を提供している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアをするようにしている。必要に応じて訪問歯 科診療を受け、アドバイスを頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○ 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			個々の排泄パターンをチェック把握し、利用者のサインを見逃さないようにしている。随時、トイレ誘導している。	
44		○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			利用者が排泄を失敗することがあり、ご家族から「トイレに早めに誘導してほしい」との要望があった際には、ご本人の現在の身体機能について説明して「下着を下ろすのに時間が掛かり、失敗することがあるが、失禁ではない」ことを伝えられた。ご家族と解決策について相談され、布パンツにパットを使用して見守ることにされた。	
45	17	○ 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			個々の体調に合わせて入浴している。快く楽しめる入浴を心掛けた支援を行っている。	
46		○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			浴室の入り口には「ゆ」とかかれた暖簾をかけておられる。入浴を嫌がる利用者とは、ご本人と相談して週に2～3回は入浴することを決めて支援されている。ゆず湯等、季節に応じて楽しめるような工夫をされている。	
46			(自己評価)	
			一人一人の体調に合わせて、日中の臥床を取り入れ、活動を大事にしている。安心して休まれるよう言葉掛けし、冬場は湯たんぽを使用して頂いている。季節の変わり目の寝具の調節をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医療情報に一人一人の薬の内容について記録している。服薬の支援と症状の変化に気づけるよう観察を怠らないよう努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯機を回し、干し、畳みや食器拭き、料理の盛り付け、調理を通し、個人が活躍できる場を広げている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や買い物に出掛けたり、遠足、外食等を通じて外出を楽しんで頂いている。外に出られないときはデッキを利用し、外気浴をしたり、歌をうたわれたりして楽しんで頂いている。 (外部評価) 日々の散歩は、事業所が坂道の途中に立地していることもあり、坂道が苦にならないようルートを考えられたり、隣のスーパーまでパンやお菓子を買に行かされている。今年は、利用者一人づつ行きたい場所や生まれ育った場所を訪ねる取り組みをすすめておられる。生家に行くことが難しい方は、近くにある公園等に行ってみることにされている。秋には中山にある「花の森ホテル」に一泊旅行され、いつもより多く食事を召し上げる利用者もあった。系列の事業所と一緒に遠足に行かれることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に出掛ける際、ご本人のお金を使って物を購入して頂くようにしている。本人が管理できない場合であっても職員の関わりで支払いをするようにしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族に手紙を書くよう勧めている。電話をしたいと希望された場合、出来る限り要望に応えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日々の環境整備に努めている。移動がしやすいよう机、家具等の配置に配慮している。季節の花を机に飾っている。	
			(外部評価) 玄関先には、ご家族が植えてくださったお花が咲いていた。玄関口まで坂になっているため、昇降台が設置されている。足音等にも配慮して事業所内は素足で過ごせるような環境作りをされている。居間のテーブルには季節のお花や半透明の水槽にはメダカが泳いでいて、利用者との話題にもよく上がる。以前はソファの前にテーブルを置かれておられたが、利用者が杖を突きにくいような様子がみられ、現在はテーブルの場所を替えておられた。デッキでは、お茶を楽しまれたり花の手入れをされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 仲の良い方同士を近くにする等工夫している。一人になれる落ち着いた居場所としてソファやデッキを活用している。	
			(外部評価) ご本人の家にあった家具、仏壇等馴染みのある物、ご本人の好きな物を居室に置いて、居心地の良さを工夫している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご本人の家にあった家具、仏壇等馴染みのある物、ご本人の好きな物を居室に置いて、居心地の良さを工夫している。	
			(外部評価) ご本人が書いたり職員が書いた表札が居室の入り口に掛けられていた。利用者個々のこれまでの生活や利用者の希望に応じて、ベッドや布団をご自宅から持ち込んでおられる。写真やご自分が作ったちぎり絵の作品を飾っておられる方もいる。お若い時から使っている鏡台を持って来られる方や、仏壇のお水をご自分で替える方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下やトイレに手摺を配置し、ご自分の力で立位して頂いている。玄関には椅子を置き、座って靴が履けるようにしている。	